

○議長（川崎和夫君） 3番 吉川孝弘君。

○3番（吉川孝弘君） 私のほうからは、特産ポイント活用についてちょっとお話を聞きたいと思っております。

舟橋村の人口は1990年を転機として急速に増加し、11月1日の基本台帳に基づく人口が3,119人となり、村人口ビジョンの2020年の目標値を達成しました。

舟橋村では、健康を育むことを基本的な理念とし、日本一の健康な村の実現を目指しております。

日本一ちっちゃな舟橋村ならではの住民みんなが支え合うこととして、健康イベント等への参加に新しい住民を取り込み、住民参画を促し、行政と一体となった協働によるまちづくりが必要です。行事やイベント等への参加の機会のきっかけづくりがあれば、もっと活性化するのではないのでしょうか。

例えばポイントシステム的なことを導入することにより、健康イベント等への参加、健康長寿社会の構築に向けて健康づくりの推進や福祉の推進などに参加でポイントを集めることにより、集団検診率の向上にもつながり、健康づくりに関心の低い方へ効果的なアプローチを行い、村民の意識改革を図ることができます。

ポイントを集める楽しみがあると、行事への参加も楽しく取り組んでもらえる。ポイント制があるからと、気軽に他の住民を誘いやすい利点もあります。

しかしながら、ポイント制度に重点を置くのではなく、ポイントがたまると村の特産物や村内で使えるサービス券などの特典と交換できるシステム的なものにするによって、村の特産物をつくる人に意欲が湧いて、地域活動の活性化、経済効果と村内の交流も進展してくるのではないのでしょうか。

ポイントシステムの導入に多くの方が参入してもらうことにより、なり手不足問題の解消へのきっかけにもなるのではないかと考えております。

舟橋村の特産物とポイントとをコラボさせることで、住民がともに支え合う共助、健康で幸せになれる舟橋村循環型のポイント活用の推進ができないのでしょうかお聞きしたいと思います。

○議長（川崎和夫君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 3番吉川議員の特産ポイントについてのご質問にお答えいたします。

議員からご提案いただきましたポイントシステムにつきましては、本村の国民健康保

険事業で、平成29年6月1日より取り組んでおります。

本事業は、特定健康診査の受診率向上及び継続的な受診の定着を目的とした健康ポイント制度であります。この制度は、40歳以上の国保加入者を対象に、特定健診や人間ドックの受診、職場健診の結果を提供することにより1ポイントを付与し、合計3ポイントで景品と交換できる制度であります。

現在このポイント制度の導入に当たっては、平成28年度の村民の特定健診の受診率が県内自治体で順位が低かったことや、国民健康保険事業の保険者努力支援制度では、個人へのインセンティブ提供の有無が国の交付金の算定にかかわるということから、特定健診に絞って実施いたしております。

この後、ポイント制度が健診受診率の向上や住民参画に有効であるか等の事業検証を行い、効果が確認されれば、対象事業をウォーキングや健康講座など他の保健事業へ拡大することも検討してまいりたいと考えております。

また、ポイントと景品の交換につきましては、平成31年度から開始となりますので、景品の選定に当たっては、国保運営協議会においても検討してまいりますが、住民ニーズを十分に把握するとともに、本村の特産品の活用や村内で利用できるサービス券等についても検討してまいることを申し上げまして、答弁いたします。

○議長（川崎和夫君） 吉川孝弘君。

○3番（吉川孝弘君） 今ほどは、答弁ありがとうございます。

やっぱり健康というものはキーワードでありまして、健康づくりをして、健康で健診を受けることが大事だと思います。また、ことしの文化祭では、天達さんという気象予報士さんが来て講演もしていかれましたが、今後、全国的に異常気象が予想されております。2035年とか2100年とかの気温の予想とかいろいろされたんですが、またことしの台風12号は逆に走ったり、異常気象というのが最近多くなっております。

そこで、ポイント利用ということで、防災対策に関しても住民は意識が少ないということで、そういうポイント制を利用して参加率を高めることによって、防災対策を舟橋村はやっていけばいいと思っておりますが、そんなところにもポイントをつけていってもらったら、住民参加が多くなり、安全・安心な舟橋村ができるのではないかと思いますので、その点についてもお話を伺いたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（川崎和夫君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 吉川議員の再質問にお答えいたします。

今ほどポイント制度の提案、このポイント制度が事業検証を行って非常に住民参画に有効であるということになれば、その対象事業を拡大していきたいというふうに考えております。

健康におきまして、ポイントがあるから健診を受けるわけではなくて、本来は自分が健康でいなければいけないから受けなければいけないわけですが、そういった受診率を上げるというアウトプットにおいては、これが本当に有効なのかどうか。そういったものをきちんと事業検証して、それから事業の拡大に努めたいと思います。

以上です。